

市民会館跡地エリア新施設・広場活用ワークショップ



ミルミル
フムフム
ツクール

主催 茨木市 運営 studio-L

WORK
SHOP
511/21(日)
ふりかえる

program

- 1 前回の振り返り
- 2 ワーク：社会実験をふりかえるZINEづくり
- 3 グループ別発表
- 4 レクチャー：デザインスクールの取り組みを知ろう！
- 5 今後のスケジュール



前回のふりかえり

第3回ワークショップは、試作発表会に向けて、新施設と広場のさまざまな場所を想定し設定した新しいグループに分かれて、5年後の新施設でチームメンバーと共に過ごす1日をイメージボード上に表現しました。そして、第4回ワークショップで、イメージした理想の未来を実現するためにできることから試してみる社会実験を、10月23日、24日の2日間実施しました。



社会実験をふりかえるZINEづくり

2日間開催した社会実験の内容をまとめる小冊子 ZINE (ジン) をつくりながら、グループでふりかえりました。ZINE (ジン) とは、個人やグループが自由な手法・テーマで制作する冊子のことです。事前に LINE グループに各自が書き込んだふりかえりをグループで共有し、当日の写真などもみながらページ構成を相談していきました。役割分担をして、写真やデコレーション素材をつかって ZINE にまとめていきました。

構成は自由！

ZINEにまとめること

- グループの企画(イメージボード)
- プログラムの概要
- 試したかったこと
- 試してわかったこと
- これからにむけて



グループ別発表

各チーム5分程度で、制作したZINEを使って社会実験のふりかえり結果を発表しました。



飛び出す絵本でプログラムの開催状況を表現。思い思いの時間が過ごせる空間をつくり、一人ひとりのスペースがある大切さを実感することができた。これらに向けて、色々な人が入りやすい、関わりやすいしかけや工夫が必要。



居場所がテーマだったが、いろいろな話をしながら、笑い合っていくことが居場所づくりにつながる感じた。室内での取り組みも試してみたい。新施設が市民にとって大切な居場所になっていけばいいと改めて思った。



お試してやってみたプログラムで偶然の再会や、新しい発見などたくさんの気づきがあった。新しい施設でもこんなプログラムがたくさんあれば新しい出会いがもっと生まれるのではないかと感じた。活動を続けていきたい。



市民のみなさんと触れ合うことができ、良い時間だった。茨木市のおいしいところ、良いところ、お得なところを市民の皆さんから教えてもらい地図に落とし込むことができた。茨木いっぱいテーマにして本格マップを作りたい。



企画のテーマを「大人の休日」にしたが、子どもたちにとっても楽しんでもらえた。テーマを絞ることも大切だが、時間帯や場所に応じて、多様な人が楽しめるプログラムや場づくりをしていくことが大切だと感じた。

レクチャー：デザインスクールの取り組みを知ろう！

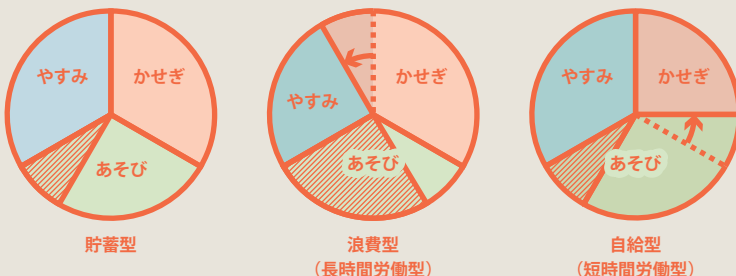


○事例紹介 介護・福祉のこれからプロジェクト

北海道から九州・沖縄まで8つのブロックに分けて、介護・福祉をテーマにしたデザインスクールを開催しました。介護福祉医療関係者、デザイナーやクリエイター、その他一般の人たちが集まり、全7回のワークショップをそれぞれの地域で開催しました。そして、全国の67のチームが東京に一同に集まり「老い展」を開催し、つくりあげた企画を発表しました。デザインスクールで生み出されたプロジェクトは今も各地で実践されています。

○人生の楽しみと活動

誰もに平等に与えられている1日24時間を、「かせぎ」「あそび」「やすみ」の3つの時間で構成されているとします。この3つの時間をどのように使うか、お金をつかって「あそび」を満たすのか、お金を使わず自分たちで「あそび」をつくりだすのか。もし、それができれば稼ぎの時間を小さくすることもできるかもしれない。自分たちで楽しさを作り出すことができれば、人生の過ごし方が変わるのではないのでしょうか。



各プロジェクトの内容は図録に掲載されている。

今後のスケジュール

希望者が2月の発表会に向けて、デザイナーとともにアイデアをブラッシュアップしていきます。

- 12/13 19:00-21:00 デザイナー説明会
- 1/16 10:00-16:00 デザイナーとの作戦会議
- 2/13 13:00-16:00 発表会準備会
- 2/20 発表会

個別相談会は随時開催していきます。